

志方東  
営農

# くみあいだより

2020年(令和2年)

12月25日(金)

第11号

本年もご協力ありがとうございました!



今年も残り少なくなってきましたが、平素は営農組合運営にご理解、ご協力ありがとうございました。さて、この一年新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、東京オリンピックをはじめとする全国で開催予定であったイベントの殆どが延期、中止を余儀なくされました。経済も落ち込み、大量の税金が投入されてきました。しかし、感染拡大は終息せず拡大の一途をたどりつつあり、経済もまだまだ立て直すまでには至っておりません。

そんな中、農林水産省から来年度に向け新たな枠組みの補助金制度が発表されており、要件を満たす補助金があればうまく活用し、営農組合の運営に役立て、地域農業の活性化に繋げていきたいと考えています。来る年、令和三年も皆さんと一緒に農業を通じて地域を大いに盛り上げていきたいと思っております。どうかご協力の程よろしくお願い申し上げます。

又、一日も早く新型コロナウイルス感染が終息し、平穏な日常に戻る事を祈り申し上げます。

代表理事 丸山良作

## 来年に向かって

★12月17日に岡地区の野田池にコウノトリがやって来ました。今年は30羽も一挙に飛来し、道行く人々を驚かせています。まだまだ居続けるとお思いますので皆さん一度見に行かれたらどうでしょうか。その時はどうかお静かに見守って下さい。



野田池でくつろぐコウノトリたち

撮影：上野忠啓さん



# トピックス



ドローンで撮影しています。

そば畑

そばの収穫風景



12月12日に実施されたそば打ち体験の様子(大宗公会堂で)

打ち立てのおそばとっても美味しかったです！今後の女性部の皆さんの活躍を期待してま〜す！



★企画部から女性部へ名称の変更を行いました。女性理事を中心とした女性の活躍できる環境を整え、志方東営農組合のより一層の活性化を進めていきます。今後ともご協力よろしくお願い致します。



◆今年、新しく購入した汎用コンバインです。今後、大豆の収穫専用として活躍します！



◆そば、蜂蜜、味噌の3点を詰め合わせたギフトセットを発売したところ、大変好評を得ました。

来年もよろしく!

## 2020 事業報告

- ・県農業共済組合来訪(事業説明)
- ・JA 営農渉外研究発表会出席
- ・総務・農機部会開催
- ・県農業共済組合設立総会出席(神戸市)
- ・大豆検見調査報告会出席(勤労会館)
- ・寺尾製粉所へ玄そば搬入
- ・ネットワーク協議会交流会出席(神戸市)
- ・理事会開催

1月

- ・ヘアリーベッチ現地確認(市農水)
- ・小麦現地確認(市農水・JA)
- ・小麦損害評価実施(ノーサイ)
- ・総務・農機・作物部会開催
- ・理事会開催

6月

- ・JA来訪(キャベツ出荷数再検討)
- ・地域農業振興協議会出席(市役所)
- ・そば・大豆現地確認(市・JA)
- ・女性会開催
- ・理事会開催

- ・市入札参加申込書提出(学校給食)
- ・環境保全型資料提出
- ・小麦現地確認(農業共済組合)
- ・市集落営農組織協議会研修会参加(夢工房)
- ・総務部会開催
- ・理事会開催

2月

- ・小麦現地確認(畑・大沢南支店)
- ・企画部会開催
- ・ドローンによる空撮(小麦収穫・田植え)
- ・キャベツ講習会及び反省会(本店会議室)
- ・大豆勉強会開催(本店会議室)
- ・農機部会開催
- ・理事会開催

- ・水稲現地確認(ノーサイ)
- ・ドローンによる空撮(稲刈り)
- ・汎用コンバイン納車(本店倉庫)
- ・理事会開催

- ・会計監査(黒田・藤井監事)
- ・理事会開催(総会資料確認)
- ・総会書面決議書配布
- ・味噌材料搬入(高松清太夫老舗)
- ・人・農地プランについて市・県と連絡調整
- ・理事会開催

3月

- ・経営継続補助金申請書提出(JA)
- ・女性による意見交換会開催
- ・ネットワーク協議会出席(神戸市)
- ・集落営農組織協議会役員会出席(市役所)
- ・スタンプラリー交流会出席(県民局)
- ・近畿農政局来訪(5名)
- ・理事会開催

- ・県 GAP 推進地区別研修会出席(姫路市)
- ・県農業共済組合総代会出席(神戸市)
- ・視察研修のため来訪(美作県民局)
- ・新汎用コンバイン取扱い説明会開催
- ・ネットワーク協議会出席(神戸市)
- ・理事会開催

- ・ヘアリーベッチ現地確認(市農水)
- ・組合だより配布
- ・市再生協議会総会書面決議書提出
- ・ドローンによる小麦防除(二日間)
- ・種子用小麦審査(細工所支店)JA・県
- ・理事会開催

4月

- ・ドローンによる水稲防除(大宗・広尾西支店)
- ・人・農地プラン検討会(広尾東支店)
- ・環境保全現地確認(市農水)
- ・理事会開催

- ・新汎用コンバイン試運転
- ・近畿農政局来訪(6名)
- ・旧汎用コンバイン貸し出し(ふぁーみんサポート東はりま)
- ・そば打ち体験会開催(大宗公会堂)
- ・理事会開催



## 作物部からの提案



今回、作物部から下記の提案が提出されました。当営農組合運営をどう方向付けするか、とても重要な提案だと思います。今後の部会、理事会での審議が待たれるところです。主だった事項のみを掲載してみましたのでご高覧ください。

1. 栽培品目の多様化を図り品目ごとの栽培技術の取得。
2. 進化するスマート農法を学び当営農組合に合った導入の方法を模索する。
3. 各農業機械の正しい運転技術を取得し、更なる合理化へ前進する。
4. 畑作物栽培を可能にするための圃場の整備を図る。
5. 平成3年度、改正見込みの補助金制度をよく理解し、最大限活用できる体制づくりを考える。

## お知らせ

この度、当営農組合は行常地区の主島 匠さんと雇用契約を結びました。

主島さんは昨年までふぁーみんサポート東はりまで、主にオペレーターとして活躍されていましたが、今年、就農するため退職されました。水稻、キャベツ等を中心に経営されるそうですが、時間の許す限り当営農組合に協力したいという頼もしいお言葉を頂いております。主島さんはまだ30代前半という若さであり、高齢化の進む中、後継者不足の中、大いに期待しております。今後は行常支店のみでなく他支店からの要請があればお願いしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

### 広尾東支店

丸山 良作

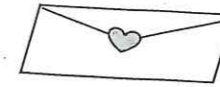
本年も昨年同様に小麦を中心に水稻、白大豆、ソバ、キャベツを栽培しました。他に今回初めて小豆にも挑戦し何とか収穫をする事が出来ました。又、コスモスマつり用にと、サツマイモ、ブロッコリー、黒大豆も作付しましたが、黒大豆に関しては見事にサヤが付かず裏切られました。つくづく農業の難しさを痛感した年でもありました。

しかし、それぞれの作業に従事して頂いた方達には本当に感謝しております。綿花の栽培にしても各自の畑での栽培をお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。日頃から協力的な当支店の皆さんと一緒に、何か新しい事業が展開出来ないか検討していきたいと思っています。来年中には皆さんの意見を反映した事業が実現できる様、頑張りたいと思います。

こういった試みが志方東営農組合の活性化に繋がるきっかけになればと思います！

## 支店だより

記事提供のあった8支店からの便りを掲載しました。



### 高畑支店

横山 六男

近年猪の数が増えたのか田畑の作物があらされる被害が増大しています。県と市としても対策に乗り出していますが即効性のある案はありません。そんな中で行政としては山裾に柵を設置する案を提案しています。

しかし、山の全周囲を囲むのは多くの時間・動力を要します。その他の対策としては、青色のストロボ・人のおいがする物、唐辛子が良いと言われています。特に唐辛子は猪が鼻で土を掘るため有効的だと思われまます。とりあえず自分でできる対策を立て努力して行きましょう。

### 大沢北支店

黒田 信行

新型コロナウイルスの蔓延により、外食産業の米の消費減少が米価への影響が懸念されていますが気がかりです。大沢北支店の農地所有者は37名ですが地区外居住者を含めた離農者は29名となっています。自営農家は9戸ですが支店への労務者は4名ですが全員が会社等の勤務者ですので休日のみの稼働となります。今後継続して行くための対策が必要となっています。農業も時と共に大きく変化してきました。今は消費者が多様化する中そのニーズに合ったものを栽培することが必要ですが、安全安心で美味しいものを提供しなくてはなりません。多量生産による自己満足にならないようにし、地区に合ったものを栽培し発展させていくために外部団体等との連携も必要に応じて進めて行きたいと考えています。

### 行常支店

藤本章

令和2年度は、小麦の赤カビ被害も無く水稻はウンカの被害も少なかった。収穫量は全支店中下位だが何とか事故も無く終わった。令和3年度の小麦播種も無事終了した。今後毎年のように異常気象が発生しているが小麦・水稻の生育阻害にならないように祈りたい。現在、人・農地プランに向けて努力しています。新型コロナウイルスの影響で農家・作業員との話し合いが積極的に取れない状態である。早く新型コロナの終息を願っています。

### 大宗支店

岡本 巨

大宗支店は、昨年度組合員に対し5年先、10年先の水稻栽培・農地管理についてアンケートを取り今後の農業に対する考えを聞いたところ、農業を続けていけるとの回答が3戸のみであり、続けても後継者が無く3年から5年で農業をやめたいとの回答が8割あり営農組合にお願いしたいとの回答が多かったです。中間管理機構を利用し農地を集積し営農組合に一本化して今年度から水稻栽培を作業委託方式に切り替えて初めての年度であり、農業収入をより意識した年でもありました。今後益々作業等も含めて営農組合に依頼されて来る事が多くなることが懸念されます。営農組合の運営にも後継者不足であり、今後営農組合の継続が必要不可欠である中で、一支店での作業が出来ない状態に近い将来来る事が予想され心配です。

### 広尾西支店

大村 勝信

今年は新型コロナウイルスにあげ、総会の中止、コスモスマつりの中止、夏祭りの中止等、多くのイベントが取りやめになりました。農作物ではジャンボタニシ、イノシシ、ヌートリアの被害も増加し、過去最悪となりました。加えて夏場の異常気象による長雨、猛暑等々農家泣かせの一年でした。そんな中でも新しい人材が一名加わり、又若い人がオペレーターとして積極的に作業してくれるようになり嬉しい限りです。来年は新規一転どうか良い年になる様祈るばかりです。年末、年初にかけてイノシシ柵の設置に力を入れ、来年はイノシシ被害ゼロでいきたいと思っています。

### 東中支店

藤井 敏

今年度は、小麦を植えた圃場で倒れが目立っていたので、肥料のやり過ぎで倒れた為か収穫は前年度より少なかった。毎年前年の反省を活かし少しずつは変更しているが、気候の変化による対応が難しい。当東中支店の課題は、耕作放棄田が徐々に増える傾向にあり、集落として稲作に取り組んで行っていると思いが仕事に出かける人が多い為、少人数に負担がかかる為、解消していない。これからも支店の作業を効率よく運営し、組合員の相互理解を得る様、取り組んで行きたいです。

### 野尻支店

玉田 和俊

今年度は、コロナ対策で明け暮れた一年でした。営農活動では小麦は大きな病気もなく、特に赤カビ被害は全くなく良かった。しかし相変わらず鳥獣被害には悩まされました。水稻についてはトビイロウンカが発生し個々の水田で大きな被害を受けた田も発生しました。来年度はどの様な状況になるのか今から心配です。今年度はソバを約6反作付し12月にはJAに搬入(検査受けの為)しました。台風もなく気象条件には恵まれたと思います。11月中旬に3年度の小麦作付約8ha(シロガネ約7ha、ゆめちから約1ha)を完了しました。あとは毎年行っている鳥獣対策の柵取り付け準備をしているところです。来年はコロナ対策も完了し、大きな災害もなく良い年となる事を祈念したいと思います。